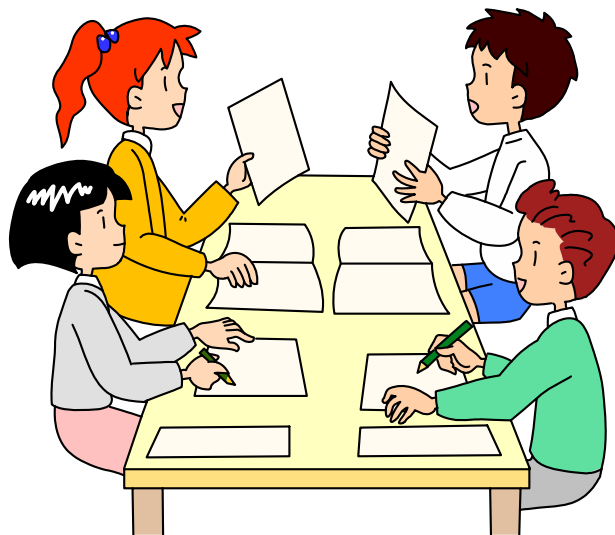

自主的・実践的な態度を育てる

係活動を 活発にするために



もくじ

◎係活動を活発にするために	1
①時間の確保	2
②役割の明確化	4
③活動の計画づくり	6
④発表の場の設定	7
⑤評価の場の設定	10
⑥子どものやる気UP	13
□係活動いろいろ	16
□自主的・実践的な態度を育てる係活動の ポイント	19
□資料	20

係活動を活発にするために

子どもの自主性を伸ばして、責任感をもたせていくために、係活動は大切な取組です。子どもたちが考え、計画し、実行したことが学級のためになり、学級を豊かにします。子どもたちは、係活動を通して役に立つ喜びを感じ、心豊かに成長していきます。そして、学級への所属感や連帯感を深め、学級の一員として、「よりよい学級にしよう」と自主性を発揮し、責任感をもって活動に取り組むことができるようになっていくのではないのでしょうか。

ここで載せている手だてや支援は、「係活動が停滞しているな」と思うときに活用できるものです。係活動は自主的、主体的な活動ではありますが、教師の手だてや支援も載せています。学級の状態に応じて、活用してください。

係活動を活発にするためのポイントを挙げました。×が付いた項目は、手だての欄を見て、その番号のところに書かれている手だてを参考にしてください。何ができていて、何ができていないのかを知り、改善策を考えていきましょう。

【活発な係活動のポイント】

活発な係活動のポイント	○・×	手だて
子どもたちの活動する時間がある。		①時間の確保
子どもたちにやる気が感じられる。		④発表の場の設定 ⑤評価の場の設定 ⑥子どものやる気UP
子どもたちが活動計画を立てている。		③活動の計画づくり
子どもたちが無理なく活動できる内容になっている。		③活動の計画づくり ⑤評価の場の設定
子どもたちは何をしたらよいかをわかっている。		②役割の明確化 ⑤評価の場の設定
子どもたちは責任感をもって活動している。		②役割の明確化 ③活動の計画づくり ④評価の場の設定
子どもたちが成果を確認する場がある。		④発表の場の設定 ⑤評価の場の設定
子どもたちが活動を振り返る時間がある。		①時間の確保 ⑤評価の場の設定
子どもたちの人間関係が良好である。		⑥子どものやる気UP

①時間の確保

係活動を活発にするためには、時間をきちんと確保していくことが大切です。しかし、他の学習も進めなければならないので、係活動の時間をしっかり設けることはなかなか難しいものです。では、どのような時間を利用して、どのような係活動ができるでしょうか。

1. 授業時間の利用

これは学級活動の時間ですが、数少ない学級活動の時間を係活動ばかりするわけにはいきません。この時間は、話し合い活動として、学級全体で目標や活動内容を共通理解したり、決めたりすることに使いましょう。

- 係活動活性化のための話し合い
- どのような係をつくっていくか決める話し合い

2. 朝の会、帰りの会の利用

朝の会や帰りの会で、活動の報告や発表の機会をとっていくことは係活動の活性化につながります。たくさんの係が発表などをして時間がかかるときは、各係で曜日を決めておくと、同じ日に係の発表が重ならず、時間がかかりません。

- 係の活動状況の報告
- 係からの連絡やお願い、簡単な発表の時間

3. 帯の時間の利用

様々な取組があり、帯の時間全てを使って係活動をすることはできないので、回数、曜日を決めて行いましょう。

- 係の活動内容などの話し合い
- 掲示物の作成や、発表の練習などの活動時間

注意点

教師がその場に居ない場合が多いので、しっかりと活動の約束を確認しておくことが大切です。教師が見ていないため、揉め事も増えるかもしれません。しかし、子どもたちが自分たちでそういった問題を解決したり、約束を守って行動したりする力を付けていく時間にもなります。



4. 休み時間の利用

子どもの負担にならないように設定しましょう。休み時間は、子どもたちにとって大切な時間です。休み時間に自主的に活動する場合はよいのですが、どうしても教師が意図的に設定しないとイケないときは、あらかじめ係活動を行うということを説明しておく必要があります。

- 掲示物の作成や発表の練習などの時間
- 係の活動内容などの話合い

5. 給食の時間の利用

いつも給食を班で食べるのではなく、週に1回程度、係で食べるのもよいでしょう。その時間を利用して、係の活動の計画づくりなど、係で話し合うことができます。ただ、給食に差し支えることがないように、給食を待っている間や給食を食べ終わった後の時間を使いましょう。

- 係の計画づくり（週計画など）
- 係の活動内容の話合い



6. 放課後の利用

係でじっくりと話し合ったり、活動したりすることができます。しかし、最近では、部活動や塾に行く子どもも増えてきていますので、配慮が必要です。また、放課後に係活動をする場合は、安全面への配慮も必要です。帰りが遅くなる場合は、保護者に連絡をし、同じ帰り道の友だちと連れ立って帰るように指示をしたり、場合によっては送っていきましょう。

- 掲示物の作成や発表の練習などの時間
- 係の活動内容の話合い

7. 係活動タイムをつくる

係活動の時間は、意識して設定しないと後回しになってしまいます。学校生活の中の3分間程度でもよいので、係活動の時間をつくり、発表や報告の場を設定するとよいですね。

- 係の発表の時間
- 係の活動内容の話合い

②役割の明確化

係活動を通して、子どもたちに責任感をもたせていくためには、「自分の役割は何か」ということをはっきりさせ、その役割を遂行していくことが必要になります。自分の役割がはっきりすることで、責任をもってその仕事に取り組むことができます。係活動が活発に行われていないという状況であれば、低学年の間は、一人に一つ役割を決め、責任が果たせるように支援していくことが大切です。そして、徐々に自分たちで考え、進んで係の仕事に取り組めるように支援をしていきましょう。

1. 一人一役にする

一人一役にして、役割を明確にし、自分に与えられた仕事を、責任をもって果たしていきけるように支援していきましょう。

本来、係活動は子どもたちの創意工夫を生かした活動です。子どもたち一人一人が自分でできることを考え、自ら進んで活動できることが大切です。しかし、活動が停滞している場合は、自主的な活動であっても教師が働きかけていかなければ、なかなか活性化しません。何をしてもいいのかわからないという子どもたちのために、初めは役割を明確にし、少しずつ創意工夫ができる係活動へと変えていきましょう。

○ 学級全体で当番活動的なものから始める

学級の人数が30人なら、30通りの仕事を考え役割を決めます。一定期間で役割を交代していくと、学級の中の必要な仕事が終わってくるでしょう。子どもと一緒に、どのような仕事が必要か考えていくと、仕事を発見していく視点を養っていくことができます。



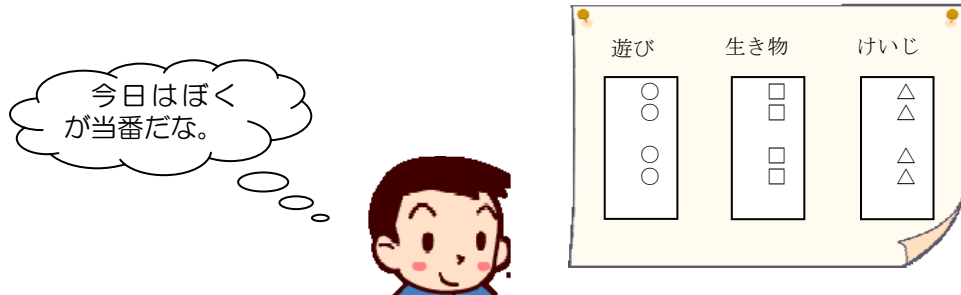
クラスにはいろいろな仕事があるんだな。ほかにも探したら、みんなのためになる仕事がありそうだ。

【一人一役 学級の中の仕事例】

窓閉め	パソコンの起動	給食台片付け	花の水やり
黒板消し	パソコンのシャットダウン	一日の時間割の掲示	生き物の世話
照明消し	照明付け	日づけかえ	落し物の整理
本の整頓	給食台用意	プリント集め	プリント配り
始めのあいさつ	終わりのあいさつ	宿題掲示	かさ整頓

○ 係の中で当番を決める

係の定期的な仕事を、どの曜日にだれが行うかを決めます。掲示板に係の当番の名前を掲示しておき、仕事を意識できるようにします。また、だれがやらなければいけないのか、ほかの子どもにもわかります。そうすると、できていないときには、子ども同士で「できてないよ。」と声をかけ合うこともできます。



○ 係の中で役割を決める

係の中で、あらかじめ主になって行う役割を決めておきます。主になった役割について計画をしたり、メンバーに協力を求めたりするなど、責任をもって役割を果たすようにしましょう。



役割を輪番制にして、メンバーがいろいろな役割を経験することができる工夫をしてもよいでしょう。

掃除当番表のように、中の番号の部分が回転する表を用意する。

新聞係

連絡	まとめ
3	1
4	2
レイアウト	情報集め

今週は、情報集めのリーダーだな。クラスが楽しくなる情報を集めよう。

何の役割もない日をつくっておき、友だちのサポートに回ったり、自分にできることを考えたりして、自発的に活動できる日を設定することも大切ですね。

③活動の計画づくり

係を決めた後は、意欲的に取り組む子どもの姿が見られます。しかし、日が経つにつれ、活動が停滞していったということはないでしょうか。係活動は、子どもたちの意欲を持続させ、継続的に行っていききたいものです。そのためには、子どもたちが自分たちで見通しがもてるように、活動計画を立てることが大切です。

1. 係の活動方針を立てる

係の名前、メンバー、目標、活動内容、月ごとの予定などを書いた係のポスターをつくと、自分たちがどのような活動をしていくのかが明確になります。学級の子どもたちへの紹介にもなり、お互いの参考になるでしょう。自分たちで考えてつくるのが難しい場合は、何を書けばよいのかがわかるように、枠や見出しをつくっておくのもよいでしょう。

(p. 20 資料 1)

自分たちでレイアウトを考えたり、係の名前、マークなどを決めたりするなどの工夫もできます。

係

メンバー	目標
	活動の内容
	活動の予定

係の目標を書く欄。学級目標につながることを考え、目標を書きます。

活動内容、活動の予定などを具体的に書きます。

係のメンバーの名前を書きます。

2. 定期的な活動計画を立てる

週ごと、隔週ごとなどの活動の計画を立てると、何をやっていったらよいか、子どもが見通しをもつことができるようになります。計画を立てることで定期的な話し合いもでき、係の活動が継続的に行われるのではないのでしょうか。

(p. 22 資料 4)



今週は、水曜日に新聞をつくるから、今日と明日で、新聞に載せる出来事を探さないといけないな。

にこにこニュース (しんぶん) 係				
10月 5日 ~ 10月 9日の計画				
	すること	いつ	する人	
月	みんなにクラスのできごとを聞いて回る	あさのうちあわせじかん	かかりみんな	
火				
水	しんぶんをつくる	ちゅうかかん	太朗次郎	
木				
金	しんぶんをはる	あさやすみ	花子	

④発表の場の設定

子どもたちのがんばりを発表する場を設けることで、活動の目標ができ、活動の意欲も高まるでしょう。

発表の場を設けることは、お互いの係の活動内容を知る機会となり、他の係の活動を自分たちの係に生かしていくことができます。また、子どもたちは、発表といってもどのようなことができるのかわからない場合があります。そのようなときは、教師が「こんなこともできるよ。」と具体的な例を示す必要があります。初めはアドバイスを受けながら、少しずつ自分たちの創意工夫が出てくるように支援していくことが大切です。

1. 授業時間を利用して、活動発表会を行う

集会活動に係活動の発表の時間を設定するなどして、発表の機会を設けましょう。授業時間を使うと、比較的長い時間の発表を企画することもできます。大がかりな発表になるときは、事前に教師が出来具合を把握しておくことが大切です。自主的な活動だからといって、まかせっきりでは、子どもたちがみんなの前で恥ずかしい思いをすることもあります。また、人を傷付けるような内容を含んでいることがあるかもしれません。分量や内容を把握するために、一度リハーサルをしておくといよいでしょう。

(授業時間を利用した係活動の発表例)

- ・ お笑い係……コント、漫才
- ・ 遊び係……昔遊び大会
- ・ クイズ係……クイズ大会
- ・ お誕生日係……お誕生日会
- ・ イベント係……ゲーム大会
(宝探しゲーム、鬼ごっこ大会など)
- ・ スポーツ係……スポーツ大会
(ドッジボール大会、ソフトバレー大会など)
- ・ ギネス係……記録にチャレンジ会
- ・ 保健係……クラスの皆勤賞表彰式、健康をテーマにした紙芝居や劇
- ・ ほめ上げ係……クラスのよいところビンゴ大会
- ・ 図書係……ブックトーク、読み聞かせ
- ・ 掲示係……掲示物コンテストの表彰式
- ・ 新聞係……ニュース発表会 (クラスの10大ニュースなど)

短時間でできるものや、時間をじっくりかけて行うものなど様々です。限られた時間をどう使うか、話し合い活動で決めていきましょう。



子どもたちの発想を生かして、楽しい活動ができたらいいですね。

2. 休み時間を利用して、ミニイベントを行う

あらかじめ休み時間に発表を行うことを連絡しておき、発表します。全員に参加を呼びかけることも自由参加にすることもできます。

(休み時間を利用した係のミニイベント例)

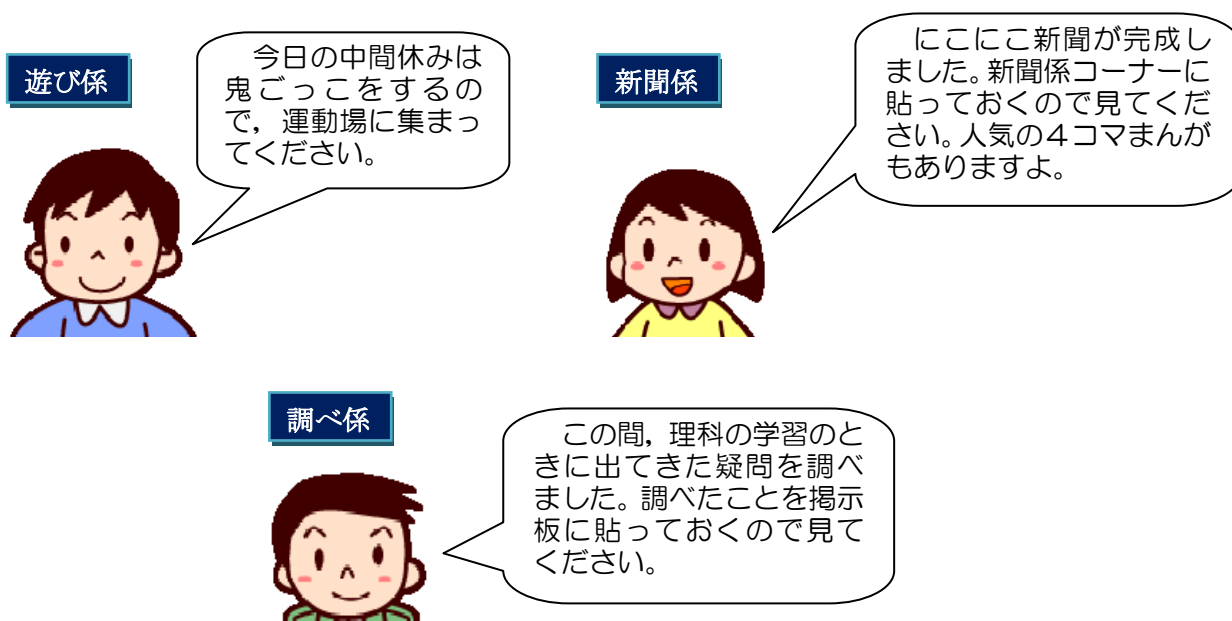
- ・ お笑い係…漫才やショートコントの披露
- ・ 遊び係…全員遊び、昔遊び大会
- ・ 読書係…読み聞かせの会
- ・ 音楽係…リコーダー演奏会
- ・ イラスト係…イラストコンテスト
- ・ 生き物係…生き物えさやりタイム
- ・ ギネス係…チャレンジランキング大会 (カン積み競争, ○○と読む漢字探しなど)

3. 朝の会、帰りの会を利用して、連絡タイムを設ける

朝の会、帰りの会の時間を有効に活用しましょう。だらだらと長引いてしまっては、他の学習に支障をきたしてしまうので、時間を設定し、時間内に終われるような内容に限定しましょう。

○ 係からの連絡

イベントの日時などの連絡や、新聞などの掲示物の紹介をする。



○ 係活動の様子報告

自分たちの係が、今どのような活動をしているのかを報告する時間を取りましょう。お互いの係がどのような活動をしているのかを見える形にすることで刺激になり、しっかりとやらなければという責任感をもつことができるのではないのでしょうか。全ての係が一度に報告することになれば、多くの時間がかかってしまうので、曜日ごとに報告する係を決めておくといよいでしょう。係の報告に対して教師が励ましのコメントをつけることで、更に子どもの活動意欲が高まります。

今週は、みんな遊びのアンケートを取って、計画を立てました。これからも楽しい遊びを計画していきたいと思います。



みんなのために、いつも楽しい遊びを計画してくれてありがとう。先生も楽しみにしていますよ。



○ 短時間でできる発表

2、3分でできる発表を朝の会や帰りの会で行うことで、楽しい雰囲気をつくることができ、係にも活躍の場を与えることができます。



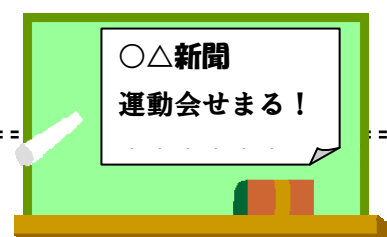
朝のおはようクイズをします。しっかり考えて、目を覚ましてください。では、第一問…。

4. 掲示板を利用して、広報スペースを設ける

係が新聞などを掲示できるコーナーをつくっておいて、自由に活用できるようにする。掲示板が必要な係に場所を割り当てておくと、各係の活動状況がわかります。

(掲示板を利用した係の広報例)

- ・ 新聞係…クラス新聞を掲示する。
- ・ 遊び係…遊びの予定を掲示する。
- ・ 掲示係…季節を表す掲示物を掲示する。
- ・ 調べ係…お役立ち情報を掲示する。
- ・ お誕生日係…その月の誕生日の人を掲示する。
- ・ イラスト係…募集したイラストを掲示する。



⑤ 評価の場の設定

活動をやりっぱなしでは子どもの意欲は持続しません。自分自身による評価，友だちによる評価，教師による評価の時間を設けましょう。特に教師による評価は，結果よりも活動の過程をよく観察し，励ましの言葉やねぎらいの言葉，感謝の言葉などの言葉かけをしましょう。

1. 自分自身による評価

自分たちの活動を評価することにより，できていないところやもっとよくしていけるところに気付けるようにすることが大切です。低学年では，より簡単でわかりやすい評価が必要になります。

○ 活動ノートによる振り返り

その日に行った活動を活動ノートにまとめていきます。教師が励ましのコメントを入れることで意欲が継続できるようにします。毎日書くということが難しい場合は，係のメンバーで順番に書いていったり，週ごとの振り返りにしたりしてもよいでしょう。

(p. 21 資料 3)

係活動ふりかえりノート

() 係 名前 ()

1 今日したこと

2 今日がんばったこと

3 つぎにがんばりたいこと

(先生から)

今日のがんばりチェック がんばった数だけ色をぬろう

○ 定期的な活動計画を活用した振り返り

にこにこニュース (しんぶん) 係			
10月 5日 ~ 10月 9日の計画			
	すること	いつ	する人
月	みんなにクラスのできごとを聞いて回る	あさのうちあわせじかん	かかみん
火			

ここに◎, ○, △
をチェック!

活動計画表にチェック欄を設けておき，班で予定していた活動ができたか振り返りを行います。その振り返りを次の活動計画に生かすようにしましょう。

(p. 22 資料 4)

○ 自己評価チェックシートによる振り返り

チェックシート形式にしておき、簡単に活動を振り返ることができるようにします。
1日、1週間、1ヶ月、係を変更するときなどに自己評価をし、次の係活動に生かせるようにしましょう。(p.20 資料2)

ふりかえりの内容	よく できた	できた	もう 少し	そう思うわけ
① 自分から進んで、係活動をしましたか。				
② 学級が楽しくなるような、係活動を考えましたか。				
③ 計画を立てて、係活動を進めましたか。				
④ 友だちと協力して、係活動を進めることができましたか。				

3段階(よくできた、できた、もう少し)で自己評価するだけでもよいですが、理由を書くことで、課題を明確にすることができます。
理由を見て、教師が適切な助言ができるとういすね。

2. 友だちによる評価

子どもたちは、友だちからほめられたり、認められたりすることが大きな喜びとなります。また、子どもたちの学級における自治能力を伸ばしていくためには、相互評価をし、自分たちの力でよいところを伸ばしていくことが大切です。

○ よかったよカード、こんなことしてほしいなカード

係の活動のよい点や要望などを書けるカードを用意し、いつでも書けるようにコーナーを設置しておきましょう。係のポスターの下にカードを入れるポストをつくっておいてもよいすね。(p.23 資料5)

よかったよカード

あそび 係さんへ

この間のドッジボール
大会でやわらかいボール
を二つ使ってやった
のがおもしろくて

よかったです。ありがとう。

10月 5日

○○ ○○ より

こんなことしてほしいなカード

けいじ 係さんへ

どうぶつのは
コンテスト

をしてほしいな。おねがいします。

10月 6日

△△ △△より

次は、コンテストをしてみようかな。



3. 教師による評価

教師による評価は、子どもたちが意欲的に係活動を継続していけるように、適時声かけをしていきます。

○ 意欲付け、励まし、賞賛、つまずきのあるグループへの声かけ

係の活動計画表や活動ノートをチェックしたり、普段の様子を観察したりしながら声かけをしていきましょう。また、活動ノートなどにコメントを入れていくことも大切です。「先生が見てくれている」という思いが、意欲の向上につながります。

○ がんばった係への感謝状

意欲的に活動できた係に、帰りの会などの時間を使って、学級を楽しくしてくれたことへの感謝状や賞状を送りましょう。担任から子どもたちへ「ありがとうの気持ち」を伝えることで、意欲が高まるでしょう。(p. 23 資料 6)

空白の欄に、どのような活動をしていたのかを具体的に書く。そのことで、今後どのような活動を行えばよいのか、子どもたちが考える材料になります。

○ 活動報告時のコメント

帰りの会などで、各係での活動状況を報告する時間などを設定し、報告に対して、教師が一つ一つコメントをしていきます。がんばりを認めてもらうことで、子どもたちは更に意欲をもつことができます。また、できていなかったときは、次からがんばって取り組めるように、「そうか。残念だな。でも、次の報告のとき、楽しみにしているよ。」「～してみたらどうかな。」と、激励や助言する形でコメントをしたいですね。

◆ 指導のポイントを押さえた言葉かけ

子どもたちの力を伸ばしていくために、教師は係活動を通してどのような力をつけたいのかを明確にもっておくことが大切です。活動をやりっぱなしにならないように、子どもたちにはどれぐらいの力がついているのか、これからどのような力を伸ばしていくことが必要なのかを考え、指導のポイントを押さえて言葉かけや支援を行っていけるようにしましょう。

(自主的・実践的な態度を育てる係活動のポイント p. 19 参照)



⑥子どものやる気UP

1. 当番的な活動から始める

当番的な活動を行い、継続的に活動することにより、子どもたちにできるという実感をもたせましょう。学期中、必ずしも同じ係でないといけないことはなく、様々な活動を順に行えるようにすると、いろいろな活動の仕方を学ぶことができます。当番的な活動を行い、調子が出てきたら、創意工夫ある係をつくっていくとよいでしょう。

2. 子どもが希望する係を選択できるようにする

係活動の仕事内容は、わかりやすく示すことが大切です。係を選択するときの内容を簡単に板書するなど、子どもたちがイメージしやすいようにしておきましょう。実際に係活動を始めて、自分の思っていたものとイメージが違った場合、係を変更できるようにしておくといよいでしょう。

◆ 自分のやりたい係につけるように

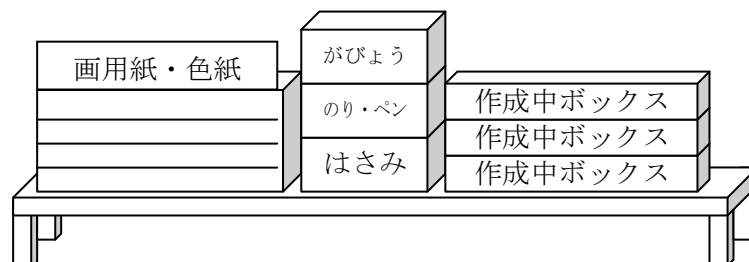
係を決定するとき、一つの係が大人数になってしまったり、逆に1人になってしまったりすることがあります。それでも、子どもがやりたいと思った係につくのが一番よいでしょう。大人数の場合は、何グループかに分けましょう。1人の場合は、先生が手助けをしたり、係を変更してもよいという子どもや、かけもちでやってくれる子どもを募ったりしましょう。



3. 環境を整える

係活動をするため必要な用具をそろえて、係活動コーナーをつくりましょう。やろうと思ったときに、必要なものがなく、先生に「〇〇ありますか。」と聞きにいたり、どこかに物を取りに行ったりするだけで、時間がなくなってしまうこともあります。すぐに活動できるようにしておくことも、子どもの意欲の持続につながります。

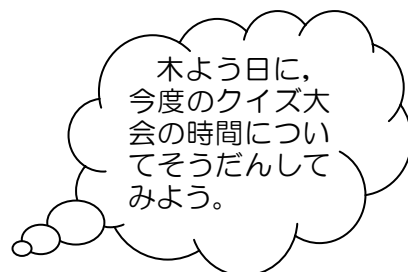
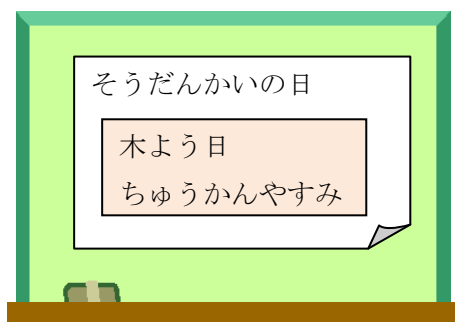
自由に使えるようにすることで、自分たちで片付けをするという習慣も付きます。



係で作成中のものを入れる箱をつくっておくことで、整理整頓ができます。

4. 相談会を開く

曜日、時間を決めておき、子どもたちが先生に相談できる時間をつくりましょう。何をやってよいかわからなくなったときや、先生と協力しないとできないことなど、相談しやすい環境をつくっておきましょう。



5. 柔軟に新設, 統合, 解散する

係を新設したり、統合したり、解散したりできるようにすることもよいでしょう。新たな係が必要になったとき、その係としてやるものがなくなってきたときなど、気分を変えることで活性化につながります。あまりにも頻繁に係が変わりすぎるのも達成感を得ることができなくなり、よくありませんが、決められた期間を必ず最後までやり遂げなければと、かたくなになる必要はありません。子どもたちの様子を見て、柔軟に対応できたらよいでしょう。

6. 遊びを取り入れる

係活動を考えるとき、子どもたちが今までの係や当番活動にとらわれず、自由に発想することが大切です。子どもたちの中ではやっている遊びなどを係に発展させることも考えられます。サッカーがはやっているのであれば、サッカー係、将棋がはやっているのであれば将棋係など、子どもが楽しみながら活動できるクラブ的なものをつくるのも意欲を高めることにつながります。必ずしも活動が多岐にわたる必要はなく、イラスト大会を開く係など、一点集中型の係もよいと思います。

係が発展していったとき、係活動としてふさわしくないこと（何か作るときにお金がかかってしまう。学校にもってきはいけないものをもって来るなど）が出てくるおそれがあります。「何ができて、何ができないのか」という係活動の枠組みを、教師が明確に示す必要があります。



7. 係のエピソードを語る

子どもたちは、今までやってきた係活動を基に、新たな係活動を考えていきます。経験の積み重ねとしてとても大切なことですが、創意工夫といった面で乏しくなることもあります。そういう場合は、教師が今まで受けもった学級のおもしろかった係や活動を知らせていくとよいでしょう。「そのような係をやってみたいな」「そういう活動の仕方もあるんだ」と、新たな視点をもって活動に取り組むことができます。



お笑い係は、休み時間にショートコントを考えたり、ダジャレを考えたりして、発表していましたよ。



やってみようかな。

8. 自分たちだけの係をつくる

自分たちの係に愛着をもち、所属感や連帯感をもって活動することができたら、より意欲的に取り組めるでしょう。

○ ネーミングを考える

新聞係や遊び係といった、ほかの学級でもあるような名前ではなく、自分たちの係であるという意識をもたせるネーミングを考えるのも、子どもたちの意欲を喚起する一つの方法です。自分たちのイメージに合った名前がつけられるとよいですね。

(係のネーミング例)

中間休みの遊びを考える係	➡	なかよし遊び係
学級の楽しい出来事を知らせる係	➡	にこにこかべしんぶん係
掲示物をはって教室を明るくする係	➡	たいようかざり係
誕生日を祝う係	➡	ハッピーバースデー係

○ マークを考える

自分たちの係のマークを考えるのもよいでしょう。新聞やポスターに描き入れることで仲間意識を育て、意欲的に活動しようとするよい雰囲気をつくることができます。

新聞係の活動で、新聞に載せる情報を提供してくれた人に、係がつくったポイントカードを渡し、たまったら景品（自分たちでつくったもの）と交換するといったユニークな工夫がありました。そのポイントカードのマークとして係のマークを使うなど、自分たちの係のシンボルとして活用できるとおもしろいですね。

😊 【係活動いろいろ】 😊 😊 😊 😊 😊 😊 😊 😊 😊

どのような係活動ができるのかを、子どもたちがイメージすることは難しいものです。自分たちの経験の中から考えるので、学年が小さいうちは、当番活動的な発想になることも多いのではないのでしょうか。子どもたちが、様々な係のイメージをもてるように、教師が係の例を挙げるのが大切です。

○ 新聞係

学級や学校での出来事取材し、新聞にまとめ、掲示する係。学級や学校のことでなくても、みんなに知らせたい社会で起きたニュースなどを取り上げてよいですね。4コマ漫画などのコーナーもあると子どもたちは喜ぶます。

○ 遊び係

休み時間の全員遊びなどを計画し、進行する係。全員遊びの進行だけではなく、みんなにアンケートを取って、遊びの内容を決定したり、チーム分けをしたりと、みんなで遊ぶための準備も担当します。その学級のオリジナルの遊びを考えたりしても楽しいでしょう。

○ 掲示係

学級を楽しくするための飾り付けや学習の手助けとなるような掲示物を作成する係。「季節に合った掲示をするためには、どのようなものがよいか」「折り紙の織り方など、どのような作り方をしたらいいのか」などを調べて、掲示物を作成します。

○ 生き物係

学級で飼っている生き物の世話をする係。水槽の水換えやえさやりなど、忘れてはならない仕事が多く、責任感が必要です。生き物と触れ合うコーナーやえさやりコーナーを企画したり、生き物の様子をポスターにして掲示したりするなどの工夫が考えられます。

○ お笑い係

学級を楽しくするために、みんなにお笑いを披露する係。ネタを考えることが難しいときは、教師が助言することが大切です。お笑い劇、ショートコント、漫才、ダジャレの発表などの活動が考えられます。

みんなの前で発表するときは、一度リハーサルをして教師が見ておくとよいでしょう。時間がかかりすぎてしまったり、不適切な発言をしてしまったりすることがあるかもしれません。時間を守って発表できるか、人権に関わる発言がないかなどチェックしておきましょう。



○ お楽しみ係

お楽しみ会などの集会を企画する係。自分たちで内容を考えて会を開いたり、他の係からの出し物を取りまとめて、会を開いたりするなどの活動が考えられます。お楽しみ会は学級全体の集会活動になることが多いので、お楽しみ係からの提案を受けて、学級会で話し合いをすることが大切です。

○ 図書係

学級のみんなに本を読むことの楽しさを伝える係。学級文庫を整理するなど、裏方的な仕事から、本の紹介ポスターやブックトークをするなど創意工夫できる仕事まで、様々な活動を考えることができます。

○ 保健係

学級のみんなが楽しく、健康に過ごせるように活動する係。手洗い・うがいを呼び掛けたり、健康に関するポスターや新聞などを作ったりします。また、歯磨きの大切さを伝える劇をするなどの工夫も考えられます。

○ お誕生日係

学級のみんなの誕生日を祝う係。バースデーカードを作って渡したり、お誕生日会を開いたりするなどの活動が考えられます。誕生日一覧表などを作成し、掲示するなどの工夫も考えられます。

プレゼントを作るなど、物を作るという活動では、「学校にある物で作る」というルールが必要です。誕生日のプレゼントを作っているうちに、よりよいものを作りたいという気持ちになり、学校にある材料で物足りなければ、家にある物を持ち出して作ることが予想されます。更に、材料が足りなくなったとき、買い足さなければならなくなったりと、お金の問題が出てきます。係活動でできる活動の範囲をしっかりと示しておくことが大切です。



○ クイズ係

クイズを出してみんなを楽しませる係。朝の会でのクイズやお楽しみ会でのクイズ大会などの活動ができます。また、クイズの掲示物を作ったり、クイズのプリントを作ったりするなどの工夫も考えられます。

○ スポーツ係

学級のみんなが楽しめるスポーツを考える係。体育で行っているスポーツを休み時間に行ったり、集会活動でのスポーツ大会を企画したりする活動ができます。既存のスポーツをそのままするだけでなく、みんなが楽しめるルールを考えるなどの工夫ができます。

○ ギネス係

いろいろな記録に挑戦する活動を考える係。辞書早調べ、〇〇の付く漢字書き取り競争、空カン積み競争、グループでのフラフープくぐりなど、いろいろな活動をし、記録を残していく活動ができます。学習につながるもの、身体的な活動をとまなうもの、コミュニケーションが必要なものなど、様々な活動を考えることで、子どもたちの得意な面がいろいろと見えてきます。

○ イラスト係

イラストを描いて学級の掲示板を楽しくする係。自分たちでクラスが明るくなるような楽しいイラストを描いて掲示したり、テーマを決めて、イラストを募集したりする活動ができます。イラストコンテストなどを行って、学級を盛り上げる工夫もできます。

○ ほめ上げ係

学級の良さを伝える係。学級の中で見つけた良さを帰りの会などで伝えたり、賞状の形にして掲示したりする活動ができます。学級の楽しかった活動やみんなががんばれた活動などを記録に残しておき、定期的にプリントや掲示物などの形でみんなに伝えるといった工夫も考えられます。

○ 調べ係

学習で出てきた疑問や生活の中での疑問などを調べ、みんなに伝える係。学習中に解決されなかったり、新たに出てきた疑問を調べ発表したり、学校や校区にある不思議などを調べ新聞にするなどの活動ができます。疑問に思っていることを投函するようなポストを作り、みんなから疑問を集め、その疑問に答えていくというような工夫ができます。

○ 音楽係

音楽を使って、学級を楽しくする係。朝の会などで行う歌の候補を選んできたり、リコーダーなどの楽器の演奏会を開いたりする活動ができます。休み時間を利用して音楽鑑賞会を開いたり、好きな歌のアンケートを取って掲示したりするなどの工夫ができます。

いろいろな係の例を挙げましたが、もちろんこれら以外にも、子どもたちの豊かな発想を生かして、たくさん楽しい係を考えることができます。また、一つ一つの係が単独で活動するだけでなく、係同士の活動をつなげたり、学級での話合いに生かしたりする工夫をすることも大切です。

○他の係と連携する

例えば、クイズ係が新聞係と連携して、新聞の中にクイズコーナーをつくります。また、イラスト係と連携して、クイズに答えてくれた人へのプレゼントのイラストを描いてもらうことなどが考えられます。

○学級での話合い活動につなげる

お楽しみ会をするときに、お楽しみ係が立案・計画し、その内容について学級で話し合うことなどが考えられます。

😊【自主的・実践的な態度を育てる係活動のポイント】😊

係活動を進め、自主的・実践的な態度を育てていくためには、発達の段階に即した指導を行っていくことが大切です。下の表は、「発達の段階に即した指導のめやす」を基に、係活動を「組織づくり」「運営」「振り返り」の三つの場面に分け、各学年の係活動のポイントを示したものです。表に示されたポイントはめやすであり、必ずこのとおりに行わなければならないというものではありません。学級の実態に応じて活用してください。

	発達の段階に即した指導のめやす	組織づくり		運営			振り返り
		係の設定	自己選択	立案	計画	実践	
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ○当番的な活動から始め、少しずつ創意工夫して係の活動を見つけれられるようにする。 ○少人数で構成された係で仲良く助け合って活動し、学級生活を楽しむことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級にどのような仕事が必要か発見する。 ・楽しく活動することができる係を設定する。 ・自分たちで様々な工夫ができる係に変えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の適切な支援により選択する。 ・何らかの係を担当する。 ・自分の興味に合った係を選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を出し合い、楽しく活動できるように考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の適切な支援により計画を立てる。 ・一人一人が自分の役割を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数で仲良く助け合って活動する。 ・自分の仕事を忘れずに行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が設定した観点に沿って、活動を振り返る。 ・次の活動で取り組みたいことを考える。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な活動を整理統合して、児童の創意工夫が生かせるような係活動として組織できるようにし、協力し合って楽しい学級生活がつかれるようにする。 ○朝や帰りの時間などを生かして、積極的に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫でき、学級を楽しむことができる係を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組める係を選択する。 ・最後までやり通すことができる係を選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級みんなの思いを考えて、話し合い、学級が楽しくなる活動を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級みんなの思いを取り入れ、計画を立てる。 ・係の一人一人が活躍できる計画を立てる。 ・他の係との連携を図る。 ・時間をうまく利用できるように計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動計画に沿って実践する。 ・継続的に仕事を進める。 ・経験を生かして、創意工夫のある活動をする。 ・相手意識をもって活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の計画に沿った振り返りをする。 ・次の活動の内容、方法を考える。
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のよさを積極的に生かせる係に所属し、継続的に活動できるようにする。 ○高学年としてふさわしい創意工夫のできる活動に重点化するなどして、信頼し支え合って、楽しく豊かな学級生活をつくるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫のある仕事の中でも、学級を楽しむために、特に必要な係を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のよさを積極的に生かせる係を選択する。 ・最後まで責任をもって行うことができる係を選択する。 ・児童会の組織とは区別して所属できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に話し合い、学級みんなの思いを考え、学級を楽しく豊かにしていくための活動を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級目標を達成していくためにはどのような活動が必要かを考える。 ・一人一人が責任をもって活動できるように計画を立てる。 ・他の係や学級全体の活動とのつながりを考えた計画を立てる。 ・効率的な計画が立てられるように工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿って、自主的、能率的に活動する。 ・責任感をもって活動を継続する。 ・他の係に協力を求めながら、創意工夫のある活動をする。 ・学級全体のことを考えて活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を検討し、よりよい活動になるように見直す。 ・係の活動が学級にとってどのような価値があったか考える。 ・次の活動をより能率的に行えるように内容、方法を考える。

※「発達の段階に即した指導のめやす」の欄は、『小学校学習指導要領解説特別活動編』の内容を引用している。その他の欄については、筆者が作成したものである。





(資料1：係のポスター)

係

メンバー

目標

活動の内容

活動の予定

(資料2：自己評価チェックシート)

係活動振り返りカード 名前 ()

【 係 】

振り返りの内容	よく できた	できた	もう 少し	そう思うわけ
① 自分から進んで、係活動をしましたか。				
② 学級が楽しくなるような、係活動を考えましたか。				
③ 計画を立てて、係活動を進めましたか。				
④ 友だちと協力して、係活動を進めることができましたか。				

係活動ふりかえりノート

() 係 名前 ()

1 今日したこと

2 今日がんばったこと

3 つぎにがんばりたいこと

(先生から)

今日のがんばりチェック がんばった数だけ色をぬろう



(資料 4 : 係活動週計画表)

係			
月 日 ~ 月 日の計画			
	すること	する人	◎・○・△
月			
火			
水			
木			
金			
活動を振り返って			

(資料5：よかったよカード，こんなことしてほしいなカード)

<p>よかったよカード</p> <p>_____ 係さんへ</p> <p>_____</p> <p>よかったです。ありがとう。</p> <p>_____ 月 日</p> <p>_____ より</p> <p>_____</p>	<p>こんなことしてほしいなカード</p> <p>_____ 係さんへ</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____ 月 日</p> <p>_____ より</p>
---	---

(資料6：感謝状)

_____ クラスを

_____ 楽しくしてくれましたで賞

_____ 係のみんなは、クラスを

_____ 楽しくするために、いろいろ

_____ な活動を考えてくれました。

_____ がんばったこと

_____ みんなをたのしませてくれて

_____ ありがとう。

_____ 年 月 日

_____ 先生より